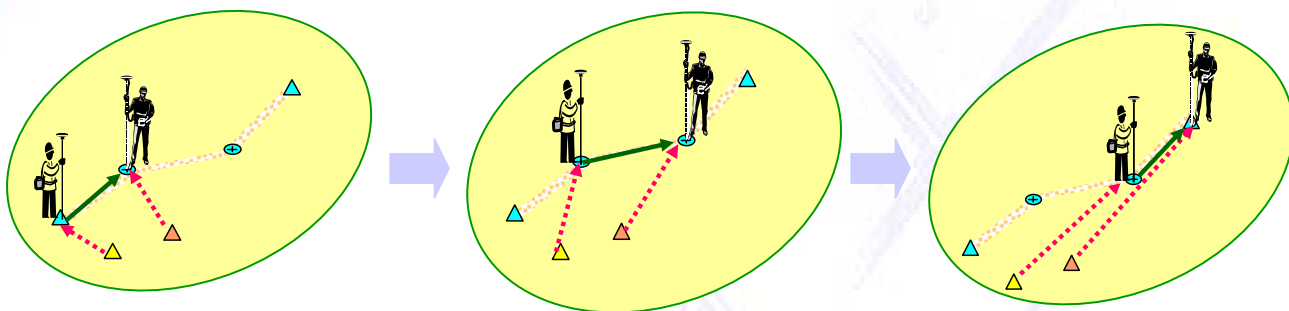


▲ 既知点 ● 新点 → 間接基線ベクトル ..... 観測ベクトル  
 ▲ ▲ VRS点

## ■ 間接法 (2台同時観測)

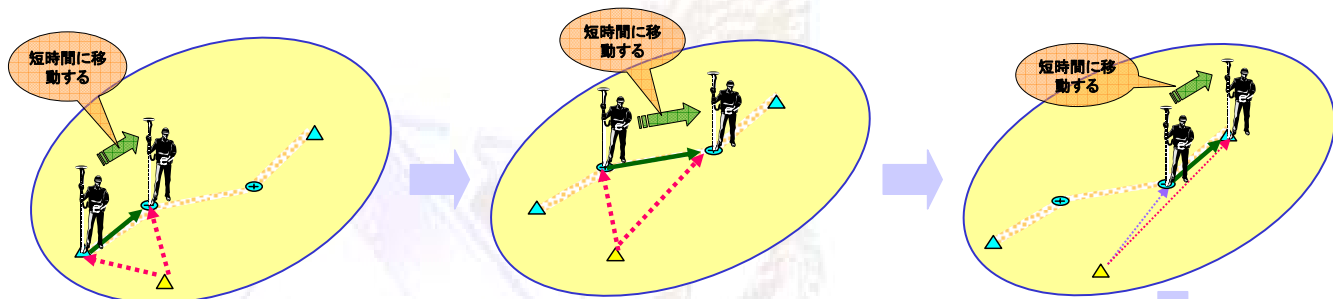
- 各間接基線ベクトルが正確に求められ、成果が確実に得られる
- 往復・2回観測は不要で片道観測で済む (環閉合差で点検の場合)



## ■ 間接法 (1台準同時観測)

環閉合点検観測 (既知点-既知点間同時観測)

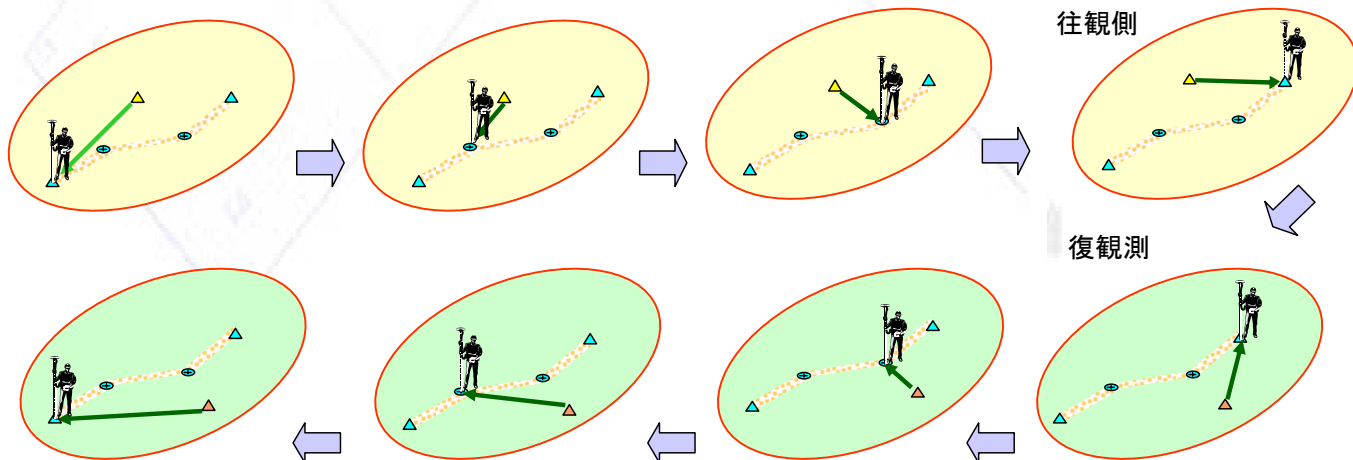
- 1台の受信機、作業員1名で作業が行える
- 同時観測に次ぎ2点間の間接ベクトルは独立して正確に求められる



## ■ 直接法

往路は逆順で観測を行い、間接ベクトルのセット間較差により点検計算

- 1台の受信機、作業員1名で作業が行える
- VRS点の設定は座標指定(固定)が有効である



隣接する2点と往復のVRS点2点を使用した間接ベクトル4辺で環を構成し、環閉合差により点検計算